



ライオンズクラブ国際協会  
2014～2015年度会長テーマ

会長

ジョー・プレストン



## “プライド” それはアフリカ中部のサバンナで 見られるような、ひとつの家族と

して固い絆で結ばれたライオンの「群れ」を指す英単語です。その群れのライオン一匹一匹には果たすべき責任があります。狩りをする事、群れを守ること、世話をすること、教えること、学ぶことなど、生き延び繁栄するために皆が一つのチームとして協力し合います。群れの中のたとえ一匹でもその責任を果たさなかったら、グループ全体に影響を及ぼしかねないのです。

同様に誇らしげなライオンのグループがもう一つあります。しかし、アフリカのライオンたちとは違い、このグループのライオンたちは恐れられたりしません。それどころか、称賛され尊敬されています。このグループも守りを固めています。そして巧みなハンターとして、ひもじい思いをしている者たちには食べ物を与え、別の問題を抱えている者にはそのニーズに応じてきました。このグループのライオンたちは、豊かな草原だけに留まってはいません。その活動範囲は世界の隅々にまで広がっており、彼らが存在するあらゆるところに利をもたらします。それは私たち、つまり、ライオンズクラブ国際協会の135万人の会員です。



会長  
ジョー・プレストン

英語の辞書を見ると、“Pride”という単語には「群れ」という意味の他にもう一つ別の意味があることがわかります。何か良いことをしたと確信した時に感じる喜びの気持ちです。それは得意になって自慢に思うことではありません。良い地域づくりにおいて達成したこと、良いことを行っているということ、また人々に援助の手を差し伸べているということ誇らしく感じる気持ちのことです。

ライオンズは本当に誇り高き団体です。ライオンズの会員たちが共通して持つ誇りがあります。それは困っている人々のニーズに応えるという決意こそが自分たちの団体を築いてきたのであり、人道奉仕におけるグローバルリーダーにさせてくれているのだという確信によるものです。この誇りが97年もの間私たちを支えてきたのです。

ライオンズという家族全体の絆をこれまで以上に強め、ライオン一人ひとりが各々の役目を果たしながら協調と相互理解の精神のもと奉仕に取り組むことで、私たちは「誇りを高める」ことが出来ます。そして、有意義なことを数多く成し遂げることによって「誇りを高める」ことが出来るのです。これは、今年度のみならず、国際協会創立100周年を通じ、更には今後100年に及び、成功を収めるための礎となるものです。



# 奉仕を通じて

## 誇りを高めよう

奉仕は、1917年の創設以来本協会の基盤となってきました。奉仕こそ、私たちライオンズの存在と私たちが最も得意とすることの真髄なのです。

私たちの未来は輝いています。私たちは3年間に及ぶ創立100周年祭を開始しようとしています。これは私たちの過去に敬意を払うと同時にこれから将来何年も私たちのために光を照らしてくれる記念祭となります。そしてその中心となるのは、「われわれは奉仕する」というライオンズのモットーに対して私たち皆が共通して持つ誇りです。協会創立100周年を迎えるにあたり、ライオンズの**100周年記念奉仕チャレンジ**を発表出来ることを非常にうれしく思います。奉仕を祝うためにこのチャレンジは2014年7月に始まり、2017年12月に終了します。100周年記念奉仕チャレンジには四つの要素が設けられます。グローバル奉仕実施キャンペーンの奉仕事業を行い奉仕チャレンジへの参加を報告したクラブは特別なパッチの受賞資格を得ます。詳細は [www.lionsclubs.org/servicechallenge](http://www.lionsclubs.org/servicechallenge) をご覧ください。

家族及び女性タスクフォースから**恵まれない子どもたちへの対応**を、という案が提起されました。それを受け、私はすべてのライオンズクラブに対し、子どもたち、特に恵まれない子どもたちのニーズに対応する特別な事業に参加するよう呼びかけています。クラブが現在行っている事業を拡張するにしても、新しい事業を手掛けることにしても、アイデアは無限にあります。それは読み書きや飢え、虐待や貧困、あるいは子どもたちのその他のニーズに取り組むことであってもいいのです。こういった活動に参加するよう、友人や家族を誘ってください。



# 会員増強を通じて 誇りを高めよう

ライオンズの焦点は奉仕ですが、それを行うライオンズの力は会員と直結しています。「数に力あり」といった表現は、私たちの団体に直接当てはまります。会員が多ければ多いほど、より多くの奉仕を提供出来るのです。うれしいことに過去6年間会員が増えてきています。人道奉仕におけるグローバルリーダーとしてライオンズの一番重要な役割を果たしていこうとするのであれば、引き続き会員を増やしていくことはもとより、大幅に増やすことが必要なのです。

何度となく私が隣人や友人また仕事仲間に「なぜライオンズの会員でないのか」と尋ねたときに返ってきた答えは、「誘われたことがないから」というものでした。皆さんの多くも同様の経験をされたに違いありません。結局は簡単な原則に従うこと、要するに誘ってみるといふことに尽きるのです。

## 「アスク・ワン（一人誘おう）」

今年度の会員増強の取り組みは、その原則にこだわるものです。これを「アスク・ワン（一人誘う）」と呼びさせていただきます。ライオンズの会員一人ひとり、つまり135万人全員がそれぞれ一人の人に入会しないかと声をかけたらどんな結果になるか想像してみてください。声をかけるだけのことなのです。「誘ってみよう」というパンフレットなど、新会員招請に役立つ素晴らしい資料も用意されています。また、皆さんがご存じの人々の勧誘に利用出来るよう調整して独自の戦略を練ってもよいでしょう。

しかし、誘い方は有意義なものでなければなりません。気持ちを込めて誘うことが重要です。経験したからわかるということも多くあるでしょう。それはライオンズについても少なからず言えることです。ライオンだからライオンなのがわかるのであり、奉仕をしたいという意欲と情熱が相手にあるかどうかはライオンにはわかります。要するに、ライオンとなる唯一最も重要な特徴は、困っている人の役に立ちたいという願望なのです。本当にそれほど単純なことなのです。ですから、一人誘ってください。いえ、二人でも、三人でも構いません。

今年度私が目指しているのは、ライオンズの皆さんにこれまでにはなかった勢いで会員招請に取り組んでいただき、その結果としてこれまでで最多数の新会員を獲得していただくことです。とにかく誘いの声をかけてみてください！

## 「期待を示そう」

私は訪問前と訪問先到着時にホストのライオンズにこう尋ねます。「何人の新会員の入会式を執り行わせていただけますか?」と。私は地区ガバナーに対しても、クラブ公式訪問をする際に**同様の期待を示す**ようお願いします。また、現職と元役員及び理事にも同じことを求めます。勧誘した相手が「入会します」と答えた場合に備えてください。それにより、適宜クラブの承認を得、意義深い入会式を行って会員証書とライオンズのピンをきちんとした方法で贈呈し、入会后丁寧な新会員オリエンテーションを行うことが可能となります。

## どんなクラブにも計画が必要

私たちが今日何を成し遂げ、将来何を成し遂げるかは、会員の増加と強化にかかっています。調査に次ぐ調査、研究に次ぐ研究から、人々はこれまで以上にボランティア活動に携わっていることが分かっています。ただし、ボランティアには選択肢があります。つまり、ボランティアに注ぐ時間を奪い合う激しい競争があるということです。ボランティア活動をしたり、クラブに入会する人々は、**自分がボランティアに注ぐ時間が地元や世界、あるいはその両方に大きなインパクトをもたらすために役立っている**という保証を欲しがります。有意義で、かつ影響力の大きい奉仕事業は、会員にやる気を持たせ続け、他者のために役立ちたいという心の糧となります。こうした奉仕事業は、他者に奉仕をすることへの私たちの誇りを示し、新会員を参加させる絶好の方法です。ですから、私は今年度すべてのクラブに、会員増強と指導力育成の両方を達成するための、クラブとその地域に合った独自の計画を策定するよう呼びかけています。「ひとつのものをすべてに当てはめる」というやり方は、どうしてもうまくいかないのです。

**特定の対象に目を向ける**ことによって会員増強に取り組んでください。あらゆるグループの人々を対象に会員増加を図りたいとは思いますが、特に女性や若い人々の招請に力を入れるよう、すべてのライオンズの皆さんにお願いします。そして、入会した女性会員や若手会員に歓迎されていると感じてもらえるようクラブ内で必要な調整を行い、平等に役職就任の機会を与えてください。何らかの理由で女性、若者、その他の特定層がクラブに溶け込むのが難しいだろうという場合には、その人たちのための**クラブ支部**や**新たなクラブ**の結成を検討してください。

## 「クラブをもっと結成しよう」

地区が一つか二つクラブを失うことはよくあることです。それゆえに、発展を望むのであれば私たちは**エクステンションに役立つあらゆる情報資料や人材を活用して、失うクラブの数よりも多くの新クラブを結成**することが極めて重要なのです。新クラブ結成には多大な努力とエネルギーが必要となります。だからこそその手助けをするライオンズのチームを設けることが重要となります。また、**ガイディング・ライオン**を育てる研修を行うことで、新クラブが成功するよう支援をする能力を持った適任者の増員も重要なのです。ここで忘れてならないのは、結成時の会員数が重要だということです。40人の会員で結成されたクラブの成功率は、20人の会員で結成されたクラブの2倍です。

## 「既存クラブの再建に取り組もう」

ガイディング・ライオンは**既存クラブの再建**にも役立ちます。クラブを失わないよう手を尽くしてください。問題を抱えているクラブがある場合には、そうしたクラブを助けるために力強く活発なクラブの協力を取り付け、ガイディング・ライオンを割り当てて会員増強、クラブ運営改善、奉仕の拡大において支援をしてください。

私が立てた会員増強戦略には、会員勧誘、特定層に的を当てた取り組み、会員の活動参加、維持、満足度向上、クラブ支部、エクステンション、そして既存クラブの再建が含まれています。これは、私たちの国際協会を発展させ強化することを目的とした包括的なプログラムです。そう述べた上で、ご自身のクラブの特定のニーズと特徴に見合った戦略を立ててくださるようお願いしたいと思います。



# クラブを強化することにより、 誇りを高めよう

基本に戻り、クラブを強化することによって協会を強化する時が来ました。すべてのライオンズクラブが、それぞれが行っていることを調べ、クラブの活性化を図るために新たな管理運営方法やテクニックの導入を検討するよう呼びかけられています。目標は、より明確な焦点、進路、意欲、目的をクラブに持たせることです。「いつものことを繰り返してやっていたのでは、いつもと同じ結果しか得られない」という古いことわざがありますが、まさしくその通りです。これまでとは違う、より優れた成果を求めるのであれば、新しい方法を試す必要があります。

新年度を迎えるにあたり、私たちが手掛けているプログラムを強化すると同時に私たちの影響力を広げるよう、私は全ライオンズにお願いしています。そして各クラブには地域社会奉仕ニーズ調査を行ってそれぞれの地域に奉仕する最良の方法を見極めていただきたいと思います。

地域社会奉仕ニーズ調査を完了したクラブにとってこの調査は主要奉仕アクティビティを決定する上で貴重なツールとなっており、調査を完了したクラブのほとんどが、地域のニーズ特定に役立ったと報告しています。これを一度限りのものとせず継続的なプロセスとしてください。また、地域の有力者とのつながりを築き、新会員を勧誘するためにも活用してください。



新会員の勧誘が重要であるのと同様に重要なのは、**会員の維持**であり、それには会員歴の長さは関係ありません。新会員は特に不安定な立場にあります。もてなし上手なホストは、人を家に招いたら、その客が居心地良く感じてくれるよう細心の注意を払います。クラブについても同じことが言えます。所属先ライオンズクラブは、自分のもう一つの家のような所です。同じクラブの会員は家族同然です。入会したばかりの会員はその一員だという帰属感を求めます。メンターを割り当ててください。すべての会員が充実感を得ているようにするとともに意見を出して共有出来るようにしてください。新会員には、クラブでの経験について定期的に尋ねてみてください。

**クラブ向上プロセス (CEP)**を実施しましょう。CEPは、クラブの会員が一つになってクラブの現在と未来について考える、楽しい参加型のプロセスであり、クラブが行う奉仕の充実を図り、クラブの有効性を向上させ、会員の体験を良いものにするために役立ちます。すべての会員のためになり、クラブ全体の雰囲気にもプラス効果をもたらしてくれます。CEPを完了するとクラブは行動計画を策定することが可能となります。そうしたら次にク

ラブの計画を実行に移すことが出来ます。そして最後のステップは、その計画を積極的に管理し、確実に成功を収めるようにすることです。

クラブを強化するために計画の一部として含めるべき重要なことは、会員全員がクラブに積極的に**関与**しているようにすることであり、それがクラブのリーダーシップ育成計画の一部であることが必須です。会員とその関心事をぴったりと結びつけ、会員が活動に参加し従事しているようにし、会員の声に耳を傾け、会員にリーダーとなるチャンスや均等に与え、そして会員が実地参加型の奉仕事業やアクティビティに携わっているようにしたら、会員の心を充足させ続け、ライオンズのメンバーであることの価値を高めることが出来るはずです。活動に従事しているライオンは満ち足りたライオンなのです。





## レオ

レオはライオンズ・ファミリー全体の力において重要な一部分を占めています。そこで、すべてのライオンズにお願いします。レオが私たちの誇りをいっそう高めて更に多くの人々に奉仕の手を差し伸べられるよう、レオを奉仕に参加させ、支援し、そしてレオの奉仕の成果をたたえてください。レオをきちんと支援し連絡を保つことが、レオが将来ライオンとなってくれるきっかけとなるはずです。若い世代に働きかけることは、現在だけでなく今後100年のライオンズの奉仕を通じて私たちの団体に利益をもたらすでしょう。レオクラブをスポンサーすることでクラブを強化してください。



## リーダーシップを通じて 誇りを高めよう

指導力育成は偶発的なものではありません。優れたクラブ指導者を育てることでクラブの強化を図ることが可能です。指導力育成は意義深い入会式と適切なオリエンテーションから始まります。それを行ってから会員を委員会に配属します。会員は委員会での任務をこなすことでリーダーへと成長するチャンスが与えられます。そしてクラブの役員を務めるように奨励し、成功を収められるよう必要な研修を受けさせる必要があります。クラブのリーダーとして昇進するにつれ、会員は新たなスキルや知識を身につけています。どのクラブも、新会員オリエンテーション、メンタリング、ゾーン会議およびリーダーシップ研修への参加に関する目標が含まれた指導力育成計画を立てていなければなりません。クラブの会員の指導能力を高め続けることでリーダー職に起用可能な人材を拡充すれば、同じ人が繰り返しかラブ役員を務める必要性を減らすことが出来るでしょう。成功を収めているクラブ指導者は、地区はもとよりそれ以上のレベルの指導職に就くに適した優れた人材です。





# 独創力を通じて

## 誇りを高めよう

セレンゲティの荒野において、生き延びることは、ライオン一匹一匹の生来の本能のひとつです。ライオンの群れは常に新たな場所を求めて移動しています。繁栄するため、また思わぬ問題を乗り切るために、ライオンたちは独創的な手段を編み出します。状況に合わせるのです。環境に適応出来る能力と新たな課題に立ち向かうことは、ライオンズクラブにとっても同様に重要です。クラブが繁栄せず成長しなければ、数えきれないほどにあるニーズは満たされないうままとなり、その結果地域は苦しむこととなります。

エレクトロニクス時代が新たな形でビジネスをしたり、いっそう幅広く人々とつながる方法をもたらしています。またコミュニケーションをとる新しい効果的な方法も与えてくれます。ライオンズクラブ国際協会は、ソーシャルメディアを用いた強力なネットワークを構築してきました。

Facebook、Twitter、YouTube、国際協会のブログや他のサイトのフォロワーの数は毎月増えています。国際大会、ライオンズ世界視力デー、国連ライオンズ・デーといった大規模なイベントからもライブツイートをしています。

独自に、またはEクラブハウスを活用してウェブサイトを立てたり、Facebookページを作っているクラブが毎日増えています。アクティビティ報告やMyLCIといった新しいツールは、クラブが活動を報告し、情報を見つけ出し、誇りを分かち合うのを容易にしてくれます。

**独創力を働かせましょう。**新たなコミュニケーション方法を設け、エレクトロニクス時代に便乗してください。案外簡単です。所属地域のフォーラムや国際大会でソーシャルメディアのセミナーを受講することが出来ますし、地区や複合地区の大会でセミナーを開催してくれる会員を地域内から探すのもよいでしょう。今年度、国際協会のスタッフが特別なハッシュタグを作り、ライオンズが会員勧誘の成功事例についてつぶやけるようにしてくれるほか、ライオンズ同士が成功例を共有するための特別なセクションを国際協会のFacebookページに設けてくれます。

私たちが現代社会で生き延び、成長し、反映するには、テクノロジーを受け入れ、うまく利用する必要があります。





分け与えること  
を通じて  
誇りを高めよう

寄付をすればするほど、分け与えられるものが増えます。どうしてもは分かりませんが、こうしたことが起こるようです。今年度私はすべてのクラブに、私たちの協会の慈善部門であるLCIFへの寄付を呼びかけています。LCIFは、クラブが単独で行える以上のことをするためにあります。金額の大小は問いません。

## パートナーシップを通じて 誇りを高めよう

同じ志を持った人々や企業・団体と協力し合うことにより、私たちはより多くのことに取り組み、より多くのことを達成することが出来ます。パートナーシップが相互に利をもたらして地域を改善し、恵まれない人々により良い奉仕を提供するのに役立つ場合には、**他団体と協力関係を結ぶ**ことが各クラブに奨励されます。私たちが提供する奉仕の数や内容、そしてその有効性に関して、ライオンズクラブ国際協会は国際レベルでこの数年間急速な発展を遂げており、この発展の大半は、パートナーシップが成功を収めていることの結果なのです。

## 決意刷新を通じて 誇りを高めよう

ライオンズの誇りは、その過去だけでなく現在にも宿っており、そして将来へと私たちを進ませてください。ライオンズ創設者メルビン・ジョーンズは、創設当初の会員たちに奉仕に対する誇りを植え付け、会員であることを誇らしく思う気持ちを育てました。そうしてライオンズクラブ国際協会の成長が始まりました。100周年記念を祝う準備を行うにあたり、創設者が私たちに残した奉仕という遺産を忘れてはなりません。今年度私はすべてのライオンに呼びかけています。**メルビン・ジョーンズの誕生日である1月13日**に地域及び人道支援、そして国際協会の目的と原則に対する決意を新たに、メルビン・ジョーンズに敬意を表してください。その方法として、奉仕事業をしたり、何かしらの良いことを行ったり、特別な新会員入会式を行ってもよいでしょう。何を行おうとも、この日を特別な日としてください。

# 勇気と信念を通じて

## 誇りを高めよう

名画「オズの魔法使い」の1シーンに「臆病者のライオン」と呼ばれるキャラクターを軸に展開する場面があります。最終的には彼は自分に欠けていたのは勇気ではなく信念であることに気づきません。信念のない雄叫びは単なる大きな騒音にしすぎません。

**ライオンズの会員は勇気と信念の両方を持っています。**いじめっ子に立ち向かったり、不正を正したり、弱い者を守るにはどれくらいの勇気があるか考えたことがありますか？満たされないニーズがあったり、お腹をすかせている者がいたり、予防可能な病気に負ける者がいたりしては絶対にならないという考えを人生の指針とするにはどれほどの信念を要するか考えたことがありますか？

**ライオンズとして私たちは、声を高らかにしてその存在を知らせる必要があります。**私たちがどういった団体であるかということ、そして、やるべき奉仕があるゆえにライオンズはどんな課題があろうともそれを提供しようとする努力を絶対にやめたりしない人々の集まりであることを、世界に伝える必要があるのです。

ライオンズクラブ国際協会**は勇気から生まれたのであり、自己の利を顧みないで他者のために尽くすべきだという信念ゆえに成功を収めてきたのです。**そしてたゆまずに努力を続ければ、この勇気と信念が私たちを未来へと導いてくれるはず**です。**



誇りを高める - 奉仕、会員増強、クラブ結成・強化、リーダーシップ育成、独創力、パートナーシップ、決意刷新、勇気そして信念を通じて誇りを高めてください。このテーマは特にライオンズの会員増強と指導力育成のネットワークであるGMTとGLTによって着々と進められている取り組みを融合するとともに賞賛し、効率性と有効性において私たちを次のレベルに引き上げるために考案されました。GLT、GMT、地区ガバナー・チームだけでなく、取り組みを支援してくれる他のすべての人材を活用してください。

皮肉にも私たちと同じ名を持つ動物は多くの生き物の恐怖心をかき立てますが、私たちは恐れられるどころか尊敬されている団体です。私たちの団体が周囲から尊敬を集めている理由は、私たちが平和、親善、他者への思いやりを推進する誠実な担い手だからです。私たちは見返りを一切求めたりしません。私たちが恵まれない人々のために行うことがその人たちに力と希望を与えるのだということさえ分かれば、それで十分なのです。

ですからライオンズの皆さん、信念を持って雄叫びを上げましょう。勇気をもって雄叫びを上げてください。私たちは世界に違いをもたらしているのです。地域と人道奉仕に力を入れて取り組み、

**誇りを高めようではありませんか。**